

自治

基本条例

教育

**生涯
学習**

**行財政
運営**

**各分科会の
検討状況**

高浜市の未来を描く市民会議(第5回)

**子育て
子育て**

産業

**地域
福祉**

環境

**都市
基盤**

健康

INDEX

1. 自治基本条例
2. 行財政運営
3. 教育
4. 生涯学習
5. 子育て・子育て
6. 産業
7. 環境
8. 都市基盤
9. 地域福祉
10. 健康

1. 自治基本条例分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日（水）全体会終了後～「自治基本条例ってなんだろう？」

第2回：3月12日（金）19時～ 「条例の全体像を考えよう①」

第3回：4月 1日（木）19時～ 「条例の全体像を考えよう②」

★ 第1回「自治基本条例ってなんだろう？」では、自治基本条例の必要性の確認（住民の自治への参画と協働について規定するとともに、まち協の位置づけを担保しようとするものである）、検討スケジュールの確認などを行いました。

★ 第2回「条例の全体像を考えよう①」では、策定事例を紹介し、実際の条文を眺めることで自治基本条例のイメージをつかみました。

その後、グループワークとして「住んでいてよかった」「住んでみたいと思える高浜市をみんなで力を合わせてつくっていくための基本ルールとして「あったらいいな」を思うことを、ポストイットに書き出しました。

★ 第3回では、第2回の検討内容をさらに深めるため、条例の骨格をイメージして前回の意見・アイデアを整理し、「市民・事業者・議会・行政に期待すること（役割・責務）」「参画・協働」「情報共有」「地域自治」「市政運営」「その他」という分類により、さらに意見・アイデアを出し合い、肉付けを行いました。

発表後、特に「これは大切」「欠かせない」と思う項目に投票シール（1人5枚）を貼り、優先順位付けを行いました。

【特に多かった意見】〔投票総数：70票〕

①まちづくり協議会の位置づけを明らかにしよう。〔13票〕

②まちづくり協議会と町内会の関係をわかりやすくできたらいいなあ。〔8票〕

③市民参画の機会が充実するといいなあ。〔8票〕

④情報共有の仕組みをつくろう。〔8票〕

⑤危機管理体制があつたらいいなあ。〔8票〕

このほか「子ども」「若者」に関する問題意識の高さも浮き彫りになりました。

まち協を担保することが最大の関心事です！

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあつたら、この機会に呼びかけましょう。）

★ 条例の幹（骨格）はおおむね見えてきました。次は幹から枝葉（詳しい規定）を伸ばしていく作業に移ります。そこで、他の分科会のみなさんから、条例づくりにあたってのご意見・ご提案をいただきたいので、別紙「アンケート」にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。（グループワークで出た意見は、資料「条例の全体像をみんなで考えよう」のとおり整理しましたのでご参考としてください。）



2. 行財政運営分科会

私たちの分科会では、こんなことを話しあっています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日（水）全体会終了後～「分科会活動の進め方打合せ」

第2回：2月22日（火）19時～ 「これから分科会で行うこと」

第3回：3月23日（火）19時～ 「グループワーク」

★ 第3回の分科会では、ワークショップ「タカハマ・カフェ」で出た意見や普段感じていることなどから、「子どもにツケを回さない」「健全な行財政運営」「市民とともに歩む経営」などを行うために、高浜市の行財政運営についての現状・課題を出し合うワークショップを行いました。結果、131の課題が出されました。（多すぎて書ききれません。）

大項目として分類した結果は、下記のとおりです。

【分類結果】

- 1 高浜市を共同経営する取組みを実施する
- 2 市民・議会・行政の意識改革を行う
- 3 市民と行政との対話を充実する
- 4 広聴機能を充実する
- 5 市民ニーズを反映した経営を行う
- 6 事業に優先順位をつけた経営を行う
- 7 収入に応じた借金を増やさない経営を行う
- 8 財源を増やす経営を行う
- 9 近隣市と広域連携を図る
- 10 事業の進捗管理を実施する
- 11 PDCA マネジメントサイクルを構築する
- 12 行財政運営の透明化を図る
- 13 市の情報を市民にわかりやすく伝える

★ 「わかりやすい予算書」の検討

- ・市職員が作成したタタキ台をもとに、どうしたら市民のみなさんに財政状況に関心を持っていただけるか、メンバー全員で意見を出し合っているところです。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

- ・次回の分科会で、行財政運営に関する課題をさらに深く掘り下げます。

みなさんも普段から感じている課題等ありましたら、どんどんポストイットに記入し、お早めに行財政運営分科会のメンバーにお渡しください。よろしくお願いたします。



3. 教育分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回 2月10日（木）全体会終了後～ 「今後の分科会の進め方について」

第2回 3月19日（火）19時～ 「教育基本構想と総合計画について」

- ★ 第2回の分科会では、まず、学校経営グループから市長マニフェストに基づく教育基本構想の策定委員会について説明がありました。そのあと、教育基本構想と総合計画との兼ね合いと今後の大筋の方針について協議しました。

【協議の結果】

○教育基本構想を機軸として総合計画へ意見等を反映させる。

○教育分科会と教育基本構想策定委員会のスケジュールを合わせて、夏の間発表までに総合的に検討する。

★ 「教育基本構想策定委員会」について

高浜市では、2年後に教育基本構想の完成を目指しています。育成（育てる）・連携（つなぐ）・改革（かえる）の3つのプロジェクトを立ち上げ、そのメンバーに分科会メンバーも参加します。総合計画に教育基本構想策定委員会が出た意見を反映させていく予定です。

○プロジェクトの概要

育成（育てる）プロジェクト・・・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」

連携（つなぐ）プロジェクト・・・「PTAとの連携」「地域との連携」

改革（かえる）プロジェクト・・・「学校建設」「システムの構築」

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

教育基本構想の各プロジェクトにて決まった構想案に、総合計画として肉付けを行っていきます。

まずは、前回の全体会のワークショップにて吸い上げた教育関連の意見について、どの意見を総合計画に反映させるかワークショップを行いたいと思います。



4. 生涯学習分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★分科会の開催のあしあと

第1回： 2月10日（水）全体会終了後

■メンバーによる意見交換

第2回： 3月 4日（木）全体会終了後

■分科会開催の日程調整

第3回： 3月29日（月）19時～21時15分

■岩崎正弥先生をお招きして [1]

★これからの分科会の予定

第4回： 4月19日（月）19時～

■生涯学習基本構想策定に向けて

第5回： 5月10日（月）19時～

■岩崎正弥先生をお招きして [2]

生涯学習分科会が本格的に始動したのは3月29日（月）からです。「子どもへの視点」を軸足とする生涯学習基本構想の策定に向けて動き始めたばかりです。子どもを地域の大事なつなぎ役・共有財産と捉え、「地育力（地域教育力）」「校区コミュニティづくり」などをキーワードに地域づくりを考える岩崎正弥先生（愛知大学三遠南信地域連携センター長、経済学部教授）をお招きし、メンバーが生涯学習についての抱負を大いに語り合いました。

岩崎先生はメンバーの思いを受け止めたうえで、各地の事例を紹介されながら「地域の根っこを掘り下げる」「間近なものを、身近なものに転換させていく」ことの重要性を指摘されました。第2回分科会では基本構想の骨子づくりを進め、第3回分科会に岩崎先生をお招きして、練り直しを予定しています。

※岩崎先生の『小さな自治を育てる』（2006年、愛知大学三遠南信地域連携ブックレット）はご一読をお勧めします。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）



5. 子育て・子育て分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日（水）全体会終了後～

第2回：3月4日（木）全体会終了後

第3回：3月23日（火）19：00～

★ 第1回の分科会では、各自が気になることを率直に出し合う中で課題が見えてくるのではないかと、子育て・子育てをしやすい環境を考えると他の分科会とも関係性が出てくるなどの意見が出ました。

★ 第2回の分科会は、今後の流れの確認と日程調整を行いました。

★ 第3回の分科会では、ワークショップ「タカハマ・カフェ」で出た意見や普段考えていることなどから、「子育て・子育てに望ましい環境として、昭和の時代のように、人とのつながりが密接になることを求めているのではないかと」という問題提起のもとに、意見を出し合いました。

〔主な意見〕

・ワークショップに参加したり、まとめを読んだりすると、誰もが子どもを大切に思っていることが分かる。

・昔は近所の家で風呂を借りたり、テレビを見せてもらったりと、人との関わりがないと生活できなかった。行儀が悪いと家に帰されるなど、近所の人にしかられたりもした。今はトラブルを回避するために個人主義になっている気がする。

・今の子どもも昔の子どもも本質は変わらない。昔の遊びを教えると、とても楽しんでやっている。今は親の過干渉、過保護が問題。

・今の世の中に、昔の生活を持ち込むのは無理である。昔は祖父母と同居していたり、親戚が近くにいたり、子育てを助けてもらえる環境にあったが、今は核家族やひとり親家庭が増えている。子どもたちが駆け回って遊ぶ場所もない。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

- ・「昭和」の時代のように、人とのつながりを大切にしながら、今の時代に即した子育て・子育てのあり方を考え、メンバーの思いのこもった計画を作りたいとの共通理解をしました。



6. 産業分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日（水）全体会終了後～

- 今後の計画策定の方向について意見交換を行いました。以下のような意見が出され、話し合いの結果、工業（製造関係）、商業（小売販売関係）に分科会として事業者向けのアンケートの実施を決定しました。

【意見要旨】

- ・ 現在の高浜の産業の実像もわからない。事業者や一般商業者からヒヤリングやアンケートを行って意見を集めないと解らないのではないか。
- ・ 今後計画策定に対して、評価を前提に数値化するなら、より現状を知ることが必要。
- ・ 「現状把握」→「実際の声の収集」が必要。
- ・ 行政でやれる後ろ盾はどれぐらいの事かを知るために、まずリクエストを集め、それに対して考えるのが分科会の仕事ということか。

第2回：3月 4日（木）全体会終了後～

- アンケート内容（素案）について意見交換を行いました。以下のような意見が出され、意見を参考としてアンケートを内容の修正をいたしました。

【意見要旨】

- ・ 10年計画であり、アンケートの設問に「未来にどうありたいか」の、「何を期待したか」と言った項目を入れるべきではないか。
- ・ 設問項目に雇用関係の内容をいれるか。（子育てのグループのリーダーと調整が必要ではないか）
- ・ 高浜を選び、このまま高浜に居てもらうにはどのようなことを考えなければいけないかを意識した設問内容とするべきではないか。

3月29日（月）アンケート発送

工業（製造関係） 200 事業者

商業（小売販売関係） 50 事業者

農業関係のアンケートは、平成20年度に市街化調整区域の農地所有者にアンケートを実施しているため、そのデータを活用します。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

- ・ 現在、実施中のアンケートの結果を分析し、今後、各産業に対して市の取組むべき施策について話し合いをしていきます。また、雇用、観光関係は、現状分析を踏まえつつ、コミュニティビジネス創出、支援等の施策を絡めた提案を考えていきます。



7. 環境分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日（水）全体会終了後～ 「分科会活動の進め方打合せ」

第2回：3月18日（木）19時00分～ 「グループワーク」

★第3回の分科会では、環境関連の現行計画について学習するため、市担当職員より説明を受けました。また、情報提供として、第4回市民会議で行った「タカハマ・カフェ」の「実行計画シートのまとめ」を配布しました。

【計画名】

1. 高浜市緑の基本計画
2. 高浜ベイサイド計画
3. 高浜市ごみ処理基本計画
4. 高浜市分別収集計画
5. 高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例

【主な意見】

緑：将来人口48,000人の可住地面積は、市内の市街化区域内では限界。人口化を1人あたり5㎡の緑地を確保することは難しい。もっと屋上緑化や民有地の緑進める必要がある。

ごみ：プラ容器のリサイクルをはじめる前は、ゴミ袋がかさ張り大きかった。現在は、プラ容器のリサイクルにより、ゴミ袋は小さく、よい状態である。

市民の意識を向上させるためには、リサイクル出した物が「何にリサイクルされている。」といった情報も提供すべきである。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

★ 第3回の分科会を4月16日（金）に予定し、環境に特化した「ワールド・カフェ」を実施して、課題の抽出、課題の障害、解決策等の検討を行います。



8. 都市基盤分科会

私たちの分科会では、こんなことを話しあっています！

★ 分科会の開催のあしあと

- 第1回：2月10日（水） 全体会終了後 分科会のあり方等の意見交換
第2回：3月4日（木） 全体会終了後 次回開催日及び議題の調整
第3回：3月23日（火） 19時～ グループワーク

★ 第3回の分科会では、第2回開催のワークショップ「タカハマ・カフェ」全体発言のなかで、「安心・安全に関する意見」が多かったことを踏まえ、これからの地域防災・防犯に対する現状及び今後の課題に重点をおき、ワークショップを行いました。

【主な意見として】

- ・地域ぐるみでの「ご近所さんどうし」の付き合いが若年層を中心に、年々、希薄になっている現状を踏まえ、地域の一員として関心をもっていただくとともに、参加まで結び付けていくことが必要である。
 - ・自然災害による被害の最小（軽減）化を図るには、事前教育をはじめ、災害復旧用資器材や備蓄食糧等の整備等の備えが必要となることから、ソフト・ハード両面での強化を図る必要がある。
 - ・犯罪を未然に防ぐには、人と人のつながりが重要であるとともに、防犯灯の設置等とおし、安心して住める住環境の整備が必要である。
 - ・これからの少子・高齢化社会を迎えるにあたり、災害時要援護者の支援に対し、支援する側の組織化を図ることや個人情報垣根を越えた「ご近所さんどうし」の情報共有化を図る必要がある。 等
- #### ★ 「防災・防犯」に対するあり方の検討について
- ・いつ起こるか分からない自然災害や一部の方しか関係のないと思われがちな犯罪に対し、ひとりひとりが関心をもっていただけるような意識の高揚に向けた手法や継続的な地域ぐるみでの人と人の支え合う新しい組織づくりに必要な仕掛けづくり 等を整理し、検討しているところです。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

★ 子育て・子育て分科会の方へ

災害時要援護者の支援体制の強化や児童・幼児へ交通安全に対する意識を芽生えさせるためにも、これから地域の一員となる若年層世帯の参加が必要不可欠と考えています。改めて、保育園・幼稚園及び小・中学校に通うお子さんをもつ若年層世帯への呼びかけ方法等について、共に考えていただきますようお願いいたします。



9. 地域福祉分科会

私たちの分科会では、こんなことを話し合っています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日（水）全体会終了後～

第2回：4月 5日（月）19時～ いきいき広場ホール

- ★ 私たちは第4回市民会議にて、出た地域福祉に関する意見をもとに、これから先「これがあればいいな」、「こんな高浜市になればいいな」を考え、分科会内にて2グループに分かれ、ワークショップを行いました。

【主な意見】

- ・町内会加入率アップで、誰もが支える社会。
- ・チャレンジド、子ども、大人等すべての人対象のスポーツイベントなどの開催。
- ・みんなが参加したくなるようなイベントの開催。
- ・住民が集まれる場所（交流の場）づくり。
- ・温かい「大きなおせっかい」があるまち。
- ・気軽に声かけできるまち。



“人とのつながりを強め、地域に住む誰もが、支えあえるまちにする。”

★ 「友だち100倍増やそう～高浜大家族計画～」の検討

- ・今は、高浜市民みんなが家族であるような、近隣との関係づくりや、高齢、障がい、子ども等、関係なく誰もが、普通に暮らせるまちづくりに向けて、考えているところです。
- ・今後は、実現するために、少しずつ具体的な案の意見交換をしていきます。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

（他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。）

- ・例えば、地域のつながりを強くするために“高浜市大運動会”の開催。
（町内会やまち協対抗など）

10. 健康分科会

私たちの分科会では、こんなことを話しあっています！

★ 分科会の開催のあしあと

第1回：2月10日(水)全体会終了後～「分科会活動を進めるにあたって・・・」

第2回：3月4日(木)全体会終了後～「次回の日程調整」

第3回：3月23日(火)19時～「関連資料説明・世代ごとの健康づくり」

★ 「これからの高浜市民の健康管理はどうあるべきか？市民として行政として何を望み、行政は何ができるか？」このテーマを市民代表の9名と行政6名で話し合いが行われた。

★ 自分たちの関係している世代（こども・青年壮年・高齢期）ごとに日頃から思うところを話し合っていた。

【主な意見】

こども

- ・ 食育では、こどもの後ろにいる親の意識に格差がある。こどもだけでなく親を意識したアプローチが必要。
- ・ こどもの運動能力の低下・メタボリック・虫歯などの健康問題の責任は親にある。
- ・ 発達障害に関する相談場所の少なさや、地域の理解の少なさなどの問題がある。

青年・壮年

- ・ 「健康コーナー」を地域で開催しても30～40代の関心が低い。
- ・ 忙しい年代ということはわかるが若い方の健康意識を高める方法はないか？

高齢期

- ・ 高齢者の場合には「健康」だけでなく「生きがい」も重要。
- ・ 高齢者になると女性は友人も多くネットワークが、広い。女性に比べ男性は、ネットワークを持つ人が少ないが、定年前からの地域デビューも効果的である。

今後、こんなことを話し合っていこうと思っています！

(他の分科会のみなさんと一緒に考えたいことがあったら、この機会に呼びかけましょう。)

- ・ <健康づくり>のために、「自分でできることはどんなことか？」
 - ・ <健康づくり>のために、「地域でできることは、何か？」
 - ・ <健康づくり>のために、「行政に何を望むか？」
- について世代ごとに今後は、話し合っていきたいと思います。

